

鎌倉市立第一小学校改築
基本構想



みらい会議

NEWS

No. 3

2026.1発行



第2回第一小みらい会議開催報告 「新しい学校はこうなるといいな」

12月20日（土）24名の方々にご参加いただきワークショップを行いました。はじめに、教育長より「鎌倉の教育のいまとこれから」をテーマにお話があり、続いて新しい学校を考えるヒントとして「先進事例の紹介」を行い、その後、こどもチームと大人チームの5グループがそれぞれの「新しい学校はこうなるといいな」をテーマにグループワークを行い、各グループに発表してもらいました。参加者同士の対話を通して、新しい学校づくりにつながる多くの視点を発見することができました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。各グループの発表から主な意見をまとめます。



Aグループ 小学校たのしいチーム(こどもチーム)

- ・ 雰囲気が明るい学校にしたい
- ・ 図書室は1つの部屋で、明るくしたい
- ・ 体育館にはエアコンがほしい
- ・ 芝生の校庭でサッカーをしたい
- ・ ジャンглジムなど楽しく遊べる遊具がほしい
- ・ トイレは鏡にうつって、中が見えてしまう
→鏡の位置を変えてほしい。ドアをつけてほしい
- ・ 掃除を増やして、きれいなトイレにしたい
- ・ 校内にランドセルや帽子を買える店がほしい
- ・ 時計が遅れているから、正確な時計がほしい

Bグループ だいいちキッズチーム(こどもチーム)

- ・ 教室にクッションや小上がりがあると、遊び心がある
- ・ 今の図書室にも靴を脱げる場所がある。
新しい学校も靴を脱げる場所がほしい！
- ・ 本を読むところはスキマやクッションがあるといい
- ・ 体調が悪いときに休める
- ・ 教室にポスターがほしい
- ・ 遊ぶ場所が少ないから、クッションがあるといい
- ・ 図工室は材料がいっぱいあるといい
- ・ 1、2階から使える、スリルがあってゆれる遊具があると楽しい
- ・ ダンスができる大きな鏡や筋トレができる施設がいい



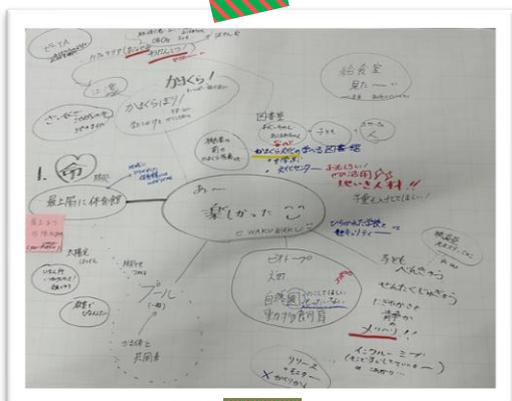
Cグループ ごちやませチーム (大人チーム)

- ・地域・卒業生・多世代がアクセスしやすい交流空間に。安全と両立。
- ・発表などを通じて学校外の仕事をしている人とつながるのも学び！
- ・他空間とつながった図書館は、日常的に本に親しめる。
- ・別々のことをしていても一人ではない場所。お互いに学びあう関係に！
- ・感染症流行時にも対応できる、柔軟に使える施設がいい。
- ・津波避難ビルとして機能。避難しやすい+学びにもつながる防災環境。
- ・教職員が働きやすく、人材確保にもつながる職場環境の充実を目指す。
- ・校内の畑で育てた作物を食べ、コンポストで堆肥化など、生きた学び。
- ・長く使うため、手入れしやすい建築素材や維持管理計画も大切。
- ・ブランコなど遊具の充実や辛い時に過ごせる場所として畑なども。
- ・工事中や当面の課題にも配慮し、子どもが安全に楽しく過ごせる学校生活が大事。



Dグループ あ〜楽しかったチーム (大人チーム)

- ・江ノ電が見える景観を生かして図書室やカフェテリアを設置し、そこでお悩み相談などもできるといい。子どもたちだけでなく、先生、保護者、地域の方、OGOBも、多世代でみんなが楽しく交流でき、心がゆったり前向きになれる学校にしたい
- ・開放性とセキュリティの両立は課題
- ・PTAや地域と子どもたち、お互いの活動や様子が見えるといい。
- ・地域産材や鎌倉彫などを取り入れ、鎌倉らしさが随所に感じられる空間
- ・最上階まで外階段・スロープで、地域の日常的な利用ができる避難場所
- ・太陽光発電や防災利用できるプールなど、環境・防災への配慮と学び
- ・ビオトープ、畑、動物飼育、コンポストなど、自然や命に触れる体験
- ・リソースルームと教室を行き来しやすくする工夫。教室に小上がりなど居場所があるといい。にぎやかさと静けさを選べる学習環境
- ・給食室を見せることで、食育と学びをつなげる仕組み



Eグループ こんなことがあるといいなチーム (大人チーム)

- ・「こんなことがあるといいな」という視点で
横軸にハード(まちづくり)・ソフト(教育)、縦軸に鎌倉らしさ・日本や世界を分類
- ・公園・広場のように開かれ、体育館・図書館などを地域と共用できる
- ・観光都市の特性を生かし、観光拠点化や国際交流のできる学校に！
- ・観光客、障がい者、文化・芸術関係者、海外・県外の人など、多様な人とつながる交流拠点にしたい
- ・好奇心を引き出し、木のぬくもりや伝統文化を感じられる場
- ・遊びと集中を切り替えられる、メリハリのある学習環境
- ・山・海・寺社・畑などを活用した、五感で学ぶ体験的な教育
- ・自宅学習を含め、不登校・登校しぶりの児童も学べる環境づくり
- ・学校の中と外に安心できる居場所を確保
- ・地域全体など、全世代で子どもを育てる仕組みが大切



ワークショップ実施スケジュール

第3回

1月31日
(土)
10時~12時

学校づくりの目標を、みんなの視点で考えよう！

「みらい会議」などの意見をふまえて新しい学校づくりのテーマについて意見交換を行います。よりよい第一小の姿をみなさまと思い描き、共有していきます。